

# はんさん

【はんさん】は【Hot And New South Akita Npo】の頭文字から名付けた造語。【県南のNPOを情報でつなく】という思いをこめました。

Vol. **6**

2005

October

平成17年10月15日



イラストレーション：小野崎 晶

お  
ぐ  
せ

- 【特集】 心の通うふれあい社会を地域に根ざす…… 2  
県外ナンバーです…… 3  
ボランティア・活動交流広場…… 4  
中学生の目から…… 4  
コラム 県南弁ゼミナール…… 4  
応援します。…… 5  
イベント情報、助成金情報…… 5～7  
ボランティア・カレンダー、編集後記…… 8

# 特集

## 心の通うふれあい社会を地域に根ざす！



湯沢あかねの会  
代表の丹すみ子さん

「介護保険の対象にならない支援」の内容は、通院外出介助、自宅の掃除、洗濯、買い物といった家事援助、そして要介護者を抱えている家族の負担軽減のための支援などである。介護保険対象にならない人でも支援を望んでいる人は地域にはたくさんいる。その人がその人らしくとじていていけるために「困った時はおたがいさま」で、対等の立場で、心の通うたすけあい活動を行なっている湯沢あかねの会代表の丹すみ子さんにお話をうかがった。

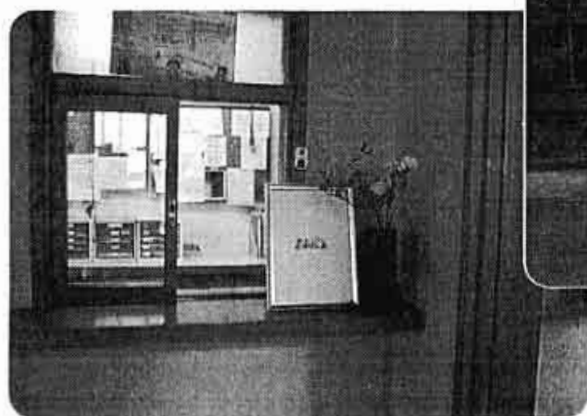


事務所開きにて、会員の皆様と

四年前までは医院だったという事務所の玄関を入ると、受付があり、待合室を通って、診察室となっている。その診察室だった部屋が事務室になっており、大きなホワイトボードには月間活動の予定表がぎっしりと書き込まれていた。ついつい「お客さん」と言ってしまうそうだったが、「利用者さん」という丹さんの言葉が印象的だった。湯沢あかねの会では、高齢や家庭の事情により、軽介護や家事援助を必要とされる方を「利用会員」、熱意と思いやりを持って活動できる方を「協力会員」、金銭的、物質的援助のできる方を「賛助会員」とし、会員互助の援助活動を行なっている。「根っからのおせっかいが生じて何とかやってきましたが、十一年間毎日が勉強ですよ」と丹さんは笑顔で答えてくれたが、その言葉に丹さんの熱い思いを感じた。



湯沢あかねの会事務所



元医院時代の受付はそのまま





主催事業「地域ふれあいフォーラム in ゆざわ」(2005. 5. 14)の様子

十五年前にラジオの情報で仙台市でヘルパーの講習があることを知り、数回に亘り受講してきた丹さんは、その後、さわやか福祉財団(理事長堀田力氏)の研修会で、高齢者社会が訪れること、家族介護の限界、心の部分の支えが必要であること、市民による対等な立場でのたすけあいが不可欠であることを学んだ。そして、自分の地域でやりたいという思いが強くなってきたものの「誰か助けて!」とSOSを出すことも、他人を家に入

れることも当地では無理、壁が厚いという思いであった。そんな時、研修で一緒だった人に背中を押され、「困った時はおたがいさま」の気持ちの延長で今できる人が今できることを手助けしていこうと、一九九五年四月主婦たち5人で「湯沢あかねの会」を立ち上げた。

湯沢あかねの会の活動は、家事援助として(食事の世話、衣類の洗濯、掃除、整理、買い物等)と、通院外出介助、介護している人の援助等である。利用、協力、賛助会員総勢六十四名で、全ての会員が年会費3000円を出し合い、利用者は支援の内容にかかわらず1時間600円(移送についてはエリア別に費用)を払う。「活動をとおして、人間としての尊厳を守る大切さ、お年寄りの方たちの内にある心の豊かさや知識の多さに驚くとしをとるということは、経験と苦勞を重ねている」ということ。日々生き方を学ばせていただいている。有難いことです。」と丹さんは語ってくれた。「これからは、お年寄りや、子どもたちとの異世代交流のできる場をつくっていききたい。そして、子どもたちには、私たちがお年寄りから受け継いできた文化を伝えていきたい。」と抱負を語ってくれた。

### 湯沢あかねの会

代表 丹 すみ子

湯沢市材木町二二一四四

TEL 0183 (72) 3283

FAX 0183 (79) 3135

## 県外ナンバー はじけてます

県外NPOが「学ぶ活動CLUB」



### うちの実家

代表：河田珪子  
〒950-0843 新潟市粟山4丁目5-1  
TEL & FAX : 025-277-9398  
E-mail: u-jikka@khaki.plala.or.jp

核家族化で地域の関りが希薄になる中で平成二年有償のたすけあい「まごころヘルプ」を立ち上げた。そして枕元までお届けできる毎日型の「配食サービス」を平成七年に開始。この活動は地域の中で男性の社会参加の場を拡げる目的も併せ持ったものであった。また、あらたなニーズとして孤独の解消を目的に平成九年に「地域の茶の間」を開始した。地域の自治会館にお茶と昼食を用意し、参加者はわずかな会費を払って自由におしゃべりし、将棋を指し趣味を楽しむ。今では地域の人々の憩いの場として、新潟県内で八〇〇を超える茶の間の誕生し、全国に拡がっている。

平成十五年には空家を利用して、実家として泊まることもできる「うちの実家」をスタート。誰でも温かく迎え入れ、心も体もゆっくり休める場所をコンセプトに、利用者が主体となったパソコン教室や子育て支援も始めている。また新潟水害の際、重度の要介護者を受け入れ、緊急の地域ボランティアセンターの役割も果たした。「うちの実家」は、住民同士が支えあい助け合う地域の心の拠り所として、その役割を確実に拡げている。



# ボランティア活動交流広場

本紙に寄せられた各団体の紹介と会員コーナーです。  
活動に興味を持たれた方、参加したい方は、各団体に直接お問い合わせください。

## あっぷるぱい

TEL 0187-54-3044

仙北

精神保健福祉ボランティアグループの「あっぷるぱい」です。「気軽に参加、楽しく参加」をモットーに、精神障害を持つ方たちとのふれあいを通じ、地域社会との架け橋となるような活動をしています。小規模作業所角館さくら共同作業所の皆さんと一緒に作業、調理実習、レクリエーションと楽しい時間を過ごさせてもらっています。8名の会員各々が、自分のできる範囲で自然体で参加することで、楽しく長く活動出来ています。できれば私達は、「こころに効く見えない薬」でありたいと考えています。そして今一番の願いは、もっと仲間が増えてほしいという事です。

- ㊦…桜並木の下で
- ㊧…松木内川の川音を聞きながら
- ㊨…落葉を踏みしめて
- ㊩…深々降る雪をながめながら…

本当の心の豊かさが何なのかを、この活動は教えてくれました。

代表 茂木 一代

## お話しタイム

TEL 0183-72-3838

湯沢

県の読み聞かせサポーター講習会終了生が、絵本を楽しみながら勉強会を継続しようと出来た会です。2ヶ月に1度の集まりで、紹介したい本、テーマに沿った本を持ち寄り、内容を話し合ったり、小道具や手遊びの紹介等を行いながら情報交換の場ともなっております。発足して2年目ですが、今年6月には近隣のグループと合同で、専門家を招き一般参加型の絵本の研修会を開催して、絵本の奥深さを学びました。

代表 平山 貞美



## つうぐ



ところで、棒寒天、切干大根など乾物の袋に〇〇分「もどす」ようにと指示がある。ここ県南人はこの「もどす」も「うるがす」を一緒に使っている。塩漬けの山菜など三日も四日も塩ぬぎのため水を取りかえて「うるがす」作業をしていた。もう一つの布類、洗たく物などしばらく「うるがす」と言われたものもある。何年かたって無洗米時代になれば「うるがす」は消えてしまうかもしれない。

- 「うるがす」は消えてしまうかもしれない。
- 「うるがす」の手口の見える 長弁
- 十分に「うるがす」の手口の見える 長弁
- 「うるがす」の手口の見える 長弁

(湯沢市在住「会報シルバークサワ」編集委員 佐藤伊世子)

## 県南弁ゼミナール

### ⑥「うるがす」の巻

浸す。米などの穀類を水に浸して、水分を吸収させ、次の作業に備えた。転じて物事を決めずに保留しておくことにも使っている。よく使う例として、〇こめうるがす(米を水に浸す)。ひとぼん、うるがすしておねば(一晩水に浸しておかないと)など。

## 中学生の



9月13日(火)横手市立鳳中学校2年

高橋 美子さん

の高橋美子さんが総合学習の一環で、自分の研究テーマに添って外に出てインタビューをする※(校外生)でセンターに取材に来ました。その時の感想をいただいておりますのでご紹介いたします。

私は、分野担当の先生が薦めてくれたのがきっかけで、南部市民活動サポートセンターに行きました。最初は、とても緊張していましたが、とても親切に接してくださいました。そして、私が調べているテーマの少子化についてやNPO(市民活動団体)などについてとても詳しく、分かりやすくいろんなことを説明して下さいました。その説明の中には私が今まで知らなかったこともいっぱいあり、とても勉強になる事ばかりでした。そして、育児に関する制度が分からなかった時に、子育て支援課の人を呼んでいただけてくれました。そのおかげで、もっと知らなかった事が分かりました。そして、男女共同参画センターの人にもお話しを聞くことができました。それもこれも南部市民活動サポートセンターさんのおかげです。いろんな人にお話しをする機会まで下さり、良い校外生をすることができました。私にとって忘れられない経験の一つとなりました。

※校則に基づいて命名された。

いざいざと活動し、新たな自分を求めてやまない姿。

高橋美子



応援  
します!

## 県南のNPO ボランティア 活動

社会福祉法人  
羽後町社会福祉協議会  
在宅福祉相談員  
柴田和加子さん  
雄勝郡羽後町林崎字五林坂21-1  
五輪坂ケアセンター内  
TEL 0183-62-5313  
FAX 0183-62-5314

羽後町にはボランティア団体連絡協議会という団体があります。町内でボランティア活動をしている団体や個人の情報交換を目的に設立され、今年で四年目を迎えます。

現在は三十二団体、二十二個人が加入し様々な活動を展開しております。事業は役員を中心としたメンバーが企画していますが、事務局を社協においているため、私達は「ボラ連」の誕生から事務的なお手伝いをしています。

活動のモットーは『こんなボランティアがあつたらいいな』を実現させること。町内の「声」をもとに年間の事業を決めています。そこから生まれたのが、朗読ボランティア養成講座の開催や、全町あげてのウエス材集めなどです。

地域の要望には私達が真っ先にお応えできるように心がけておりますが、ボラ連に寄せられる声はたいへん貴重なものとなっております。枠にとらわれない自由な考え、活発な行動力は絶大な影響力があります。



これからボラ連の活動の幅が広がるように、また町のよろず相談の場所を提供できるよう、私たちがサポートしていきたいと考えています。

# イベント情報

### ◆子育てサークル事業

#### 第二弾 広がり子育て支援の輪

地域で子育て活動を活発にしていくなために、子育てNPOと他分野NPOとが情報交換をしながら地域の課題の発見と解決策を出し合います。また、子どもが安心して暮らせる地域づくりを目指し、CAP(子どもの暴力防止)ワークショップを学びます。

日 時：十月十九日(水) 午後一時半～四時  
事例発表会&意見交換会  
十月二十六日(水) 午後一時半～四時  
ワークショップ

場 所：南部市民活動サポートセンター  
対 象：子育て中の人、子育て支援をしている人、行政職員、関心のあるNPO等

定 員：30名  
託 児：有り(十月十一日まで申し込み下さい)  
主 催：NPO法人秋田県南NPOセンター  
問合わせ、申し込み：  
南部市民活動サポートセンター

TEL 0182(33)7002  
FAX 0182(33)7038

### ◆第三回健康講座

#### (自然食料理教室&食養講座&カウンセリング)

日 時：十月二十六日(水)  
午前十時～十二時半 自然食料理教室  
午後十二時半～一時半 カウンセリング  
午後一時半～三時 食養講座

場 所：サンチェリー湯沢  
参加費：二二〇〇円

託 児：要予約(お子様一人六〇〇円)  
締め切り：十月二十二日(土)

問合わせ・申し込み：えがおの会 鈴木

TEL 0183(62)5291

### ◆2005あきた国際フェスティバル

#### 愛と平和と秋田でつなぐ地球市民

日 時：十月二十九日(土) 午前十時～午後四時  
場 所：秋田市拠点センターアルヴェ  
主 催：あきた国際交流ネットワーク  
共 催：財団法人秋田県国際交流協会  
問合わせ：国際フェスティバル実行委員会(秋田国際交流協会内)

TEL 018(864)1181

### ◆NPO活動推進自治体フォーラム横浜大会

「ラポレーションフォーラム横浜2005年」市民と自治体がともに手を取り合って「新しい公共」をつくる社会に変えていくため、それぞれが企画、運営する二つのフォーラムを横浜で共同開催します。

日 時：十一月七日～八日  
場 所：パシフィコ横浜会議センター  
対 象：NPO関係者、市民、自治体職員  
参加費：二〇〇〇円(七、八日第一、第四分科会一〇〇〇円(八日のみ第五、第七分科会)

主 催：NPO活動推進自治体フォーラム横浜大会実行委員会、協働推進会議実行委員会、横浜市

締め切り：十月二十日(木)  
※詳細はHPをご覧ください。

(<http://www.city.yokohama.jp/me/shimin/tishin/forum2005/index.html>)

### ◆まちづくりフォーラム

ひとりひとりが生かされる街をめざして街を元気にするために、そこに住んでいる一人一人のパワーが求められています。地域をおもしろくしたいと思っっているアナタ！参加をお待ちし



ています。

日時：十一月十一日（金）午後一時半～四時

パネルディスカッション

阿部 等氏(NPO法人公益ふるさと創り鶴岡)

小林純子氏(NPO法人MIYAGAI子ども

ネットワーク)

佐々木孝氏(NPO法人秋田バリアフリー

ネットワーク)

・十一月十八日（金）  
ワークショップ

場所：南部市民活動サポートセンター

対象：まちづくり・街の活性化に関心がある人、  
地域をおもしろくするために何かしたい人

定員：三〇名（先着順）

参加費：一〇〇〇円（全2回分）

主催：NPO法人秋田県南NPOセンター

申込み・問い合わせ：

南部市民活動サポートセンター

TEL 0182 (33) 7002

FAX 0182 (33) 7038

◆住民と行政の協働を考える対話フォーラム  
～市民主体のまちづくりを目指して～

日時：十一月十三日（日）午後一時～五時

一部：基調講演 秋田県知事 寺田典城氏

二部：対話フォーラム

〔協働社会・行政の役割・住民の役割〕

コーディネーター

NPO法人あきたNPOセンター常務理事  
菅原雄一郎氏

(一) パネルディスカッション

(二) 会場討論

場所：湯沢市岩崎小学校体育館

対象：NPO関係者、市民、自治体職員

主催：NPO法人 岩崎NPO

問合せ：NPO法人 岩崎NPO事務局

TEL 0183 (73) 4734

# 募集情報

◆JICAボランティア(青年海外協力隊等)  
秋募集説明会について

JICAボランティア(青年海外協力隊) 秋募

集説明会OB会主催による応募相談会が開催され

ますので、お知らせします。

日時：十月三十日（日）

・横手市 午後一時三十分～三時三十分

会場 南部市民活動サポートセンター

・湯沢市 午後五時～七時

会場 湯沢生涯学習センター

募集期間：十月十日（火）～十一月十六日（水）

問合せ先：JICA秋田デスク（秋田県国際交流

協会内）

TEL 018 (864) 1181

○青年海外協力隊（JICA）ホームページを

## お寄せください、紙面はあなたの 情報がたよります

活動広場・イベント情報掲載記事を募集  
しています！  
情報誌(はんさん)にあなたの団体を紹介  
してみませんか？

### 「県南のボランティアイベント情報」 のコーナー

◎イベントタイトル◎開催日時◎会場◎  
問合せ先◎申し込み先・場所・電話・FAX  
◎内容など100字程度でチラシがあれば  
一緒にお送りください。  
(次号は11月20日以降の情報となります)

### 「ボランティア活動交流広場」 (会員募集)のコーナー

◎会の名前◎代表者氏名とお問合せ先の  
電話・FAX番号・e-mail◎活動内容等370字  
程度(写真ありの場合200字程度)でお送  
りください。  
各コーナーの情報は毎月25日までお送り  
下さい。原則的に翌月の発行分に掲載さ  
せていただきますが、紙面に限りござ  
いますので掲載されない場合はご容赦く  
ださい。また皆様のご意見、ご感想もい  
ただければ幸いです。

〒013-0046 横手市神明町1-9  
南部市民活動サポートセンター  
「はんさん」編集部  
TEL:0182-33-7002  
FAX:0182-33-7038  
e-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

## 秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>

秋田県のボランティアや市民活動などに関する情報  
や話題をネットで皆さんのもとへお届けしています。  
登録していただくと、団体のプロフィールや目的、  
事業などをネット上で紹介することができます。ご  
希望の方には各地区のボランティア・NPO活動  
ニュースをお送りします。また、県北、中央、県南  
の各ボランティア・NPO活動ニュースのダウンロー  
ドもできます。

一覧ページ (<http://www.jica.go.jp/activities/jocv/index.html#01>)

# 助成金情報

◎長寿・子育て・障害者基金助成事業  
対象：社会福祉法人、公益法人、特定非営利活動法人、法人格のない任意に設立された団体で、助成事業の実施体制が整っている法人又は団体。

・長寿社会福祉

①在宅福祉事業等に従事するマンパワーの養成・研修。②高齢者・障害者の日常生活環境の向上に対する支援。③認知症高齢者及び在宅で介護にあっている家族への支援。④その他高齢者・障害者の在宅福祉事業等の支援。

・子育て支援

①地域や家庭における子育て支援事業。②青少年の非行防止・健全育成事業。③非行等児童や家庭問題を巡る諸課題等に関する調査研究(特別分助成のみ)。④子育てや非行児童等に関する広報啓発活動に関すること。⑤小・中学生、高校生や小・中学生、高校生のいる家庭に対する支援事業に関すること。

・高齢者・障害者福祉

①地域の福祉・介護のネットワーク形成。②緊急に充実を図る必要のある高齢者、障害者在宅福祉の推進。③高齢者、障害者の社会参加の促進。④民間非営利団体等による地域の福祉・介護活動。

主旨：高齢者や障害者の在宅福祉や社会参加の事業推進のための支援、子育て支援や青少年健全育成の推進を図るための事業を支援することを目的としている。

助成金：特別分助成→独立行政法人福祉医療機構が直接募集し、500万円を上限。地方分助成→都道府県又は政令指定都市の社会福祉協議会を通じて、200万円を上限とする。

募集期間：10/31(月)まで。

問い合わせ先：

独立行政法人 福祉医療機構  
〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13 秀和神谷ビル9階  
TEL:03-3438-9946 FAX:03-3438-0218  
関連URL:<http://www.wam.go.jp/wam/>

◎障害者スポーツ支援基金助成事業の募集

対象：社会福祉法人、公益法人、特定非営利活動法人、法人格のない任意に設立された団体で、助成事業の実施体制が整っている法人又は団体。対象事業は以下の4つのテーマに関すること。

①障害者スポーツの育成・強化事業。②障害者の競技スポーツに係る競技用具の研究開発・改良等。③障害者スポーツに対する意識高揚。④地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の推進。

主旨：障害者のスポーツの育成・強化

や競技用具の研究開発等の促進を図るための事業を支援することを目的としている。

申請方法：所定の申請書を送付。

助成金：特別分助成→独立行政法人福祉医療機構が直接募集し、500万円を上限。地方分助成→都道府県又は政令指定都市の社会福祉協議会を通じて、200万円を上限とする。

募集期間：10/31(月)まで。

問い合わせ先：

独立行政法人 福祉医療機構  
〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13 秀和神谷ビル9階  
TEL:03-3438-9946 FAX:03-3438-0218  
関連URL:<http://www.wam.go.jp/wam/>

◎平成17年度「社会福祉助成事業」

対象：福祉全般。

主旨：社会福祉関係者の資質向上に関する研修や調査研究、開拓的、先駆的な実践研究や社会福祉事業などに対して、助成事業を行う。

申請方法：所定の申請書を提出。

助成金：総額2000万円以内。

募集期間：11/30(水)まで。

問い合わせ先：財団法人日本社会福祉弘済会  
〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-24-3

TEL:03-3846-2172 FAX:03-3846-2185  
関連URL:<http://www.nisshasai.jp/fukusijyoseijigyo/index.html>

◎2006年度助成金

対象：身体障害者及び知的障害者の福祉に関する事業を直接営み、原則として設立後1年以上活動している団体。

主旨：建物、設備、什器備品等の有形固定資産の購入又は修繕にかかる経費を支援。

申請方法：①事務局に直接電話連絡をする。②当会から送付される「助成金申し込み要領」を読み、同封の「助成金申込書」に必要書類を添付し当会事務局に送付。

助成金：30万円程度～100万円(1件)。

募集期間：11/30(水)まで。

問い合わせ先：社会福祉法人新日本友の会  
〒108-8005 東京都港区港南1-8-15 Wビル

TEL:03-5495-2784 FAX:03-5495-2785  
関連URL:<http://www.shinnihon-tomonokai.or.jp/>

◎2005年度トヨタ財団地域社会プログラム

対象：助成分野として、以下の2分野です。(1)活動助成地域社会の再構築と活性化を目指し、地域にくらす人々が主体となった実践的なプロジェクトへ

の助成。(2)成果普及助成以下2カテゴリーあります。(A)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の具体的な成果を、他の地域で類似な実践をしている人たちと比較、共有することを目的とした「活動記録の出版」。(B)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の経験からたくわえられたものを、地域間で共有し広めるための「広域ネットワーク」。

主旨：基本テーマ「地域社会の再構築を目指して一支援合うくらしといのち」のもと、以下の目的で公募を実施します。①グローバル化にともない空洞化や荒廃にさらされている、「くらしといのち」を支える場である「地域社会」の再構築と活性化を目指す。②また、そのような再構築と活性化に取り組んでいる地域の人々や地域に根ざした活動を結びつけるネットワークづくりを狙いとす。

助成金：活動助成＝1件あたりの助成金の上限は200万円。成果普及助成＝(A)「活動記録の出版」1件あたりの助成金の上限は100万円程度。(B)「広域ネットワーク」1件あたりの助成金の上限は400万円

募集期間：11月21日(月)まで。

問い合わせ先：財団法人 トヨタ財団

〒163-0437 新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル37階

TEL:03-3344-1701 FAX:03-3342-6911

関連URL:<http://www.toyotafound.or.jp/shimin.html>

◎2006年度青少年育成に関するNPO助成制度

対象：非営利法人で、かつ2005年9月30日時点で法人として1年以上の活動実績を有する法人。

主旨：現在の日本の社会は様々な課題を抱えており、中でも重要な課題として、地域コミュニティーの再生が挙げられる。当社では、その課題を解決していくのは社会を構成する「人」であると考え、人材育成、とりわけ次世代の社会を担っていく「青少年の育成」に焦点をあてて、非営利法人(NPO)が地域社会の核となつて行う事業で、青少年の健全な育成につながる事業に助成を行う。

助成金：年額最高200万円、助成件数30件程度。

募集期間：11月15日(火)まで。

問い合わせ先：日本たばこ産業株式会社

パブリックリレーション部 〒105-8422

東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル

TEL:03-5572-4290 FAX:03-5572-1441

関連URL:<http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/npoboshu2006/index.html>



# ボランティア・カレンダー

平成17年10月15日～11月15日

10/15(土)	横手市ふれあいフェスティバル(10:00～ふるさと村) 障害者ふれあいスポーツの集い(10:00～湯沢市健康ドーム)	11/1(火)	
16(日)	IT講習会「ワードで作ろう～はがき編～」 (10:00～大曲大仙広域交流センター)	2(水)	
17(月)	フラワーアレンジメント(10:00～男女共同参画センター) お茶を愉しむ会(18:30～男女共同参画センター)	3(木)	
18(火)		4(金)	
19(水)	広がり子育て支援の輪(13:30～男女共同参画センター)	5(土)	
20(木)	読み聞かせサポーター研修会② (13:00～大曲大仙北広域交流センター)	6(日)	
21(金)		7(月)	「新しい公共を考える」横浜会議(13:00～パシフィコ横浜)
22(土)		8(火)	「新しい公共を考える」横浜会議(9:00～パシフィコ横浜) 読み聞かせサポーター研修会③(10:00～羽後町元西小学校)
23(日)	環境あきた県民塾(13:30～横手セントラルホテル)	9(水)	
24(月)	お茶を愉しむ会(10:00～男女共同参画センター)	10(木)	ヒューマニティ コミュニケーション企画2005 (19:00～煉瓦屋)
25(火)		11(金)	まちづくりフォーラム(13:30～男女共同参画センター)
26(水)	広がり子育て支援の輪(13:30～男女共同参画センター) 第31回健康講座(10:00～サンチェリー湯沢)	12(土)	
27(木)	フラダンス健康講座(19:00～男女共同参画センター)	13(日)	住民と行政の協働を考える対話フォーラム～市民主体の まちづくりを目指して～(13:00～湯沢市岩崎小学校体育館)
28(金)		14(月)	安全・安心まちづくりフォーラム IN 横手 (11:00～横手セントラルホテル)
29(土)	あきた国際交流フェスティバル(10:00～秋田拠点センターアルヴェ) 女性チャレンジセミナー(10:00～男女共同参画センター)	15(火)	
30(日)	青年海外協力隊秋募集説明会 (13:30～男女共同参画センター)	※イベント情報は掲載後日程が変更になる場合もあります。	
31(月)			

## 編集後記

10月は各地区で様々なイベントが開催されます。あの会、この会と足を運んでみると、いろいろな方との出会いがあります。

先日行われた子育て支援者(子育てNPO)指導者研修では現地受け入れ団体として企画の段階から携わってきました。そこでも多くの方との出会いがあり、その出会いから新たなもの・アイディアが生まれてくるのだと実感しました。

ボランティア・NPOニュース 県南版10月号

平成17年10月15日発行

発行：秋田県生活環境文化部地域活動支援室

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-2

TEL：018-860-1520

編集：NPO法人秋田県南NPOセンター

〒013-0046 横手市神明町1-9

(南部市民活動サポートセンター)

TEL：0182-33-7002 FAX：0182-33-7038

## 南部市民活動サポートセンター

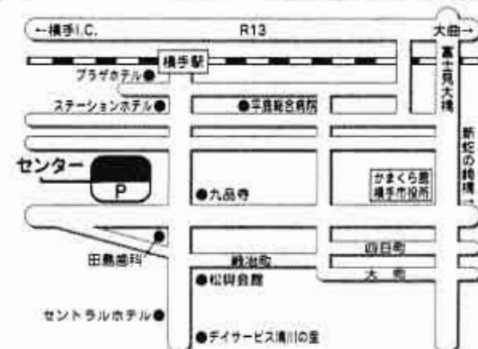
どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

相談時間 午前9時～午後6時(月～水・金曜日)

午前9時～午後5時(土曜・祝日)

TEL. 0182-33-7002 FAX. 0182-33-7038

E-mail: ssc7002@luck.ocn.ne.jp



当センターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県南NPOセンターが運営しております。